

事務事業名		消防施設維持整備事業			目標設定日	令和2年3月1日
総合 計画 体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり		部・局	消防部
	政策	02	消防・救急体制の充実		課・室	消防課
	施策	01	消防体制の充実		係	消防係
					内線電話	8131
予算 体系	会計	一般会計			実施計画	
	款	9	消防費		計上	
	項	1	消防費		実施期間	
	目	3	消防施設費		合併前 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	火災や事故等の災害、地震や風水害といった大規模災害から市民の生命・身体及び財産を守るため消防力の強化を目指す。	
現状・課題	火災をはじめ異常気象や災害も複雑多様化・大規模化してきており、災害時の初動対応で重要な役割を担う常備消防や消防団の体制強化を図るなど、更なる消防力の強化が求められている。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	消防組織法	
事務事業概要	既存消防施設の維持管理に努めるとともに、各分団に配備してある活動用資機材の整備充実を図る。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	防火貯水槽新設工事		1基
	消火栓新設改良工事費等負担金		2基

事務イン 事業プ コスト	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円		56,025,000	984,000
補正・流用等		円		-1,155,000		-
合計		円		54,870,000	984,000	7,184,000
決算（見込）額 A			円	54,336,167	984,000	-
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円	28,000,000		3,500,000
		市債	円	22,400,000		
		その他特定財源	円	900,000		
一般財源		円		3,036,167	984,000	3,684,000
正規職員数		人		0.10	0.10	0.10
人件費 B		円		643,400	644,200	644,200
総事業費 A+B		円		54,979,567	1,628,200	7,828,200
市民1人当たりコスト		円		1,285	38	185

成果指標	アウトカム	方向		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
火災発生件数			目標	12	件	12	件	12	件
			成果	16	件	23	件	-	
			目標						
			成果					-	
成果指標と目標値を設定した理由	火災予防に努めるため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	引き続き消防設備の充実整備を図る。						

